

保証書（持込修理）

本書は、本書記載内容(右記載)で、無料修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 SCX-R326		S/No.	
お 買 い 上 げ 年 月 日		年 月 日	
保 証 期 間		対象部分 機器本体(消耗部品は除く) お買い上げの日から1年	
お 客 様	お 名 前	様	
	ご 住 所	〒	
販 売 店	店 名・住 所	TEL ()	
	上欄に記入または捺印のない場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの日、店名等を証明するものを、お貼りください。		
故障内容記入欄			

<無料修理規定>

- 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、製品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
- ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。
- 保証期間内でも次の場合は有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障および損傷
 - (リ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障および損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換
- 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

※本書を紛失しないように大切に保管してください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、お客様ご相談センターにお問い合わせください。

●対象部分機器

本体（消耗部品は除く）

●修理をご依頼されるとき

「故障かな?と思ったら」で確認しても、なお異常があると思われるときは、機種名(品番)、氏名、住所、電話番号、購入年月日、保証書の有無と故障状況をご連絡ください。ご転居ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、お客様ご相談センターへご相談ください。

○保証期間中のとき

保証書の「故障内容記入欄」にご記入いただき、お買い上げの販売店まで、保証書とともに、機器本体をご持参ください。保証書の内容に従って修理いたします。

○保証期間が過ぎているとき

まず、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。

※点検や修理の際、履歴や登録したデータが消去される場合があります。

※修理期間中の代替機の貸し出しは行っておりません。あらかじめご了承ください。

ユピテルご相談窓口

お問い合わせの際は、使用環境、症状を詳しくご確認のうえ、お問い合わせください。

●下記窓口の名称、電話番号、受付時間は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、番号をお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

●紛失等による同梱品の追加購入や別売品の購入につきましては、お買い上げの販売店にご注文ください。

故障相談や取扱方法などに関するお問い合わせ

受付時間 9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く）

お客様ご相談センター



0120-998-036



1ボディタイプ
GPSアンテナ内蔵レーダー探知機

SCX-R326

取扱説明書



目次

必ずお読みください

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
本書をお読みいただくにあたって	6
本機について	7
同梱品の確認	8
各部の名称と働き	9
別売品のご案内	10

使用の準備

取り付け（本機取り付け）	11
取り付け（電源コードの配線）	15
リモコンの準備	18
microSDカードの装着/取り外し	19

取締りのミニ知識

取締りのミニ知識	20
電源をONにする～出発	22
画面表示について	

待受画面	26
ターゲット表示について	28
アイコン表示について	28
GPSターゲットアイコン一覧	29

基本的な使い方

取締りレーダー波を受信すると・・・	30
GPSターゲットに接近すると・・・	32
警報ボイスについて	33
各種無線電波を受信すると・・・	37
マイエリアを登録する	38
マイキャンセルエリアを登録する	39

カスタマイズ

設定	40
モード(マニュアルモード)	43
警報	45
画面	47
音声	48
システム	50

ity. MAP サービス

今すぐ地図表示サービス、地図閲覧サービス	51
ログ機能	52
オービス・取締り系&コンテンツデータ更新	53

その他

故障かな?と思ったら	54
ダッシュボード取り付け用ブラケットについて	57
仕様	58
保証書	裏表紙

株式会社ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用の方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

⚠注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

⚠警告

❗ 異物が入ったり、水に浸かったり、煙が出ている、変な臭いがある等、異常な状態のまま使用しないでください。発火の恐れがありますので、すぐに使用を中止して、修理をご依頼ください。

❌ サービスマン以外の方は、絶対に機器本体および同梱品を分解したり、修理しないでください。感電や故障の原因となります。内部点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

❌ 破裂、発火や火傷の原因となりますので、本機を火の中、電子レンジ、オーブンや高压容器に入れないでください。また、本機を加熱したりしないでください。

❌ 穴やすき間にピンや針金等の金属を入れないでください。感電や故障の原因となります。

❗ 心臓ペースメーカー等の医療機器をご使用のお客様は、医療用機器への影響を医療用電気機器製造業者や担当医師にご確認ください。

❗ 電源コードは確実に差し込んでください。接触不良を起こして火災の原因となります。

❗ お手入れの際は、シガープラグコードを抜いてください。感電の原因となります。

❗ シガーライターソケットやシガープラグコードのマイナス端子、プラス端子の汚れはよく拭いてください。接触不良を起こして火災の原因となります。

絵表示について

⚠ この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

❌ この記号は、してはけない「禁止」内容です。

❗ この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

➡ この記号は、関連するページを示します。

❗ 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

❌ 本機を次のような場所に保管しないでください。変色したり、変形したり、故障の原因となります。

- ・直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が非常に高い所
- ・湿気やほこり、油煙の多い所
- ・ダッシュボードや炎天下で窓を閉め切った自動車内

❌ 急発進したり急ブレーキをかけないでください。安全運転上、大変危険です。また本体などの脱落・落下等によるケガや事故、物的損害をこうむる恐れがあります。

❗ 指定以外のヒューズは使用しないでください。指定以外のヒューズを使用すると異常過熱や発火の原因となります。ヒューズは必ず同一の定格のものと交換してください。

❗ シガーライターソケットは単独で使ってください。タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。

❌ エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしないでください。万一のとき動作したエアバッグで本機が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、コード類が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

❗ 粘着マット、粘着シートの貼り付け位置は、汚れ・ホコリを十分に落してください。粘着力を弱め、本機が脱落する恐れがあります。

❗ 取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付けてください。誤った取り付けは、交通事故の原因となります。

❌ 指定された電源電圧車以外では使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。

❌ コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しないでください。故障や感電の原因となります。

⚠注意

❌ 気温の低いところから高いところへ移動すると、本機内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使い続けないでください。

❌ 落としたり、強いショックを与えない。破損、故障の原因となります。

❌ ペンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。塗装面を傷めます。

⚠ 本機は精密機械です。静電気 / 電氣的ノイズ等でデータが消えることがあります。データが消えると作動しません。

❗ ボタン電池を充電したり、分解しないでください。破損や発火、故障の原因となります。

❌ 長時間で使用にならない場合は、ボタン電池を外して保管してください。ボタン電池が液漏れを起こし、故障させることがあります。また、衣類などを汚す原因となります。液漏れしたときには、液をよく拭き取ってから、新しいボタン電池と交換してください。

❌ 指定以外のボタン電池は使用しないでください。

❌ 本機の外装を清掃する場合は水や溶剤は使わずに、乾いた柔らかい布で行ってください。内部に異物が入った場合は使用を中止し、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

❌ 各端子に異物が入ると、故障の原因となることがありますので取り扱いにご注意ください。

❌ 濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

❗ 同梱のボタン電池は、動作確認用のサンプルです。短時間の使用しかできませんので、お早めに新品の電池と交換してください。

❌ ボタン電池を鍵やネックレス、コインなどの金属小物と一緒にポケットなどに入れないでください。感電、ショートの原因となります。

❌ 使用済みのボタン電池を火中に投げ入れないでください。爆発して火災や火傷の原因となります。

❌ ボタン電池の極性(+)、(-)を正しく入れて下さい。

❗ 車から離れるときは、電源を OFF にしてください。使用しないときは電源を OFF にしてください。

使用上のご注意

- 本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。
- 電波の透過率が低いガラス（金属コーティングの断熱ガラスなど）の場合、電波が受信しにくくなり、GPS 測位機能がはたらかない場合や、取締レーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

- ・自然災害や火災、その他の事故、お客様の故意または過失、製品の改造等によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- ・説明書に記載の使用方法およびその他の遵守すべき事項が守られないことで生じた損害に関し、当社は一切の責任を負いません。
- ・本機の仕様および外観、アイコン、表示名、表示の内容は、実際と異なったり、改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品の取り付けによるダッシュボードおよび車両の変色・変形（跡が残る）に関し、当社では補償いたしかねます。

■ 表示部に関する注意

- ・表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- ・サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなってしまうことがあります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の温度が極端に高温になると表示部が黒くなる場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありません。周囲の温度が動作温度範囲内になると、元の状態に戻ります。

■ シガープラグコードに関する注意

- ・シガープラグコードは、必ず同梱品をご使用ください。
- ・シガープラグコード内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグコードを抜いて、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご相談ください。

■ 取り付けに関する注意

- ・GPS 衛星からの電波やレーダー波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。
- ・車載されている他の電装機器のアンテナの近くなど、他の電装機器の電波干渉により GPS 衛星の電波を受信できない場合があります。本機を取り付ける場所は、他の電装機器との間隔を十分取ってください。
- ・水がかかったり、熱風があたる場所には取り付けしないでください。
- ・本機あるいは電源コードが、ドアの開閉部などに当たったり、はさまれないようにしてください。
- ・本機を道路に対して水平に、またレーダー / 無線アンテナ部が進行方向に取り付けていないと、G センサーが正しく動作しないことがあります。

■ microSD カードに関する注意

- ・microSD カードの出し入れは、本機の電源を OFF にした状態で行ってください。
- ・microSD カードは一方にしか入りません。無理に押し込むと、本機や microSD カードが壊れることがあります。

■ 無線 2 バンド受信機能に関する注意

- ・カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・本機は、受信した音声を聞くことができません。
- ・カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー 2 識別は、はたらきません。

■ レーダーアラームに関する注意

- ・走行環境や測定条件などにより、取締レーダー波の探知距離が変わることがあります。
- ・狙い撃ちの取締機（ステルス型取締機）は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・レーダー波を使用しない速度取締（光電管式など）の場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。

■ GPS 測位機能に関する注意

- ・本機を初めてご使用になる場合は、GPS 測位が完了するまで 20 分以上時間がかかる場合があります。
- ・車載 TV を UHF56 チャンネルに設定していると、GPS 測位できない場合があります。UHF56 チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS 受信に悪影響を与えるためです。
- ・新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS 警報できませんのであらかじめご了承ください。
- ・GPS 警報の左右方向識別ボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

■ 画面表示に関する注意

- ・日付および時刻は、GPS 測位により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
- ・時刻の表示は、24 時間表示です。12 時間表示に変更することはできません。
- ・走行速度や GPS ターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPS や G センサー、VPS により計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- ・車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
- ・渋滞や低速走行時（発進直後を含む）は、速度表示を正しく表示しないことがあります。
- ・画面右上の時計表示は、GPS 非測位中と電源 ON 直後の測位完了までの間赤色で表示し、測位すると白色になります。一度測位したあと、トンネルなどで測位できない状況になると赤色表示に変わり、再度測位すると白色表示に戻ります。

■ 別売品の電源直結コードで接続した場合

- ・電源直結コードには、ヒューズホルダーが接続されています。ヒューズが切れた場合は、部品の紛失に注意し、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。なお、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、本機から電源直結コードを抜いて、お買い上げの販売店、またはお客様ご相談センターにご相談ください。

本書をお読みいただくにあたって

●本書はすぐに本機をご使用いただくための基本的な手順と、ご使用に伴って機能をカスタマイズしたい場合の手順を分けて記載してあります。

必ずお読みください P.2

使用の準備 P.11

取締りのミニ知識 P.20

基本的な使い方 P.22

レーダー探知機を初めて使う場合は、この部分をお読みください。

カスタマイズ P.40

機能のカスタマイズが必要な場合は、こちらもお読みください。

ity. P.51

ity. マップサービスとオービス・取締り系&コンテンツデータ更新のご案内です。

その他 P.54

「故障かな?と思ったら」が記載されています。
例外的な手順はこちらをお読みください。

※説明のために差し支えない部分において、該当以外の機種のイラストを使用している場合があります。

※本書で使用している画像は、実際の画面とは見えかたが異なる場合があります。

本機について

GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締レーダー波を発射しないループコイル、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締や検問が行われていた場所など、53種類のターゲットを識別してお知らせします。[GPS53識別]

クイック測位&準天頂衛星「グロナス」「みちびき」対応

前回電源をOFFにした時刻と自転車位置情報を基に、GPS衛星位置を予測し、現在の自転車位置をすばやく測位することができます。さらに、「グロナス」「みちびき」に対応することで、より正確な自転車位置を計測。



※ 次の場合、クイック測位は機能しません。

- ・最後に本機の電源をOFFにしてから72時間以上経過した場合。
- ・最後に本機の電源をOFFにした時と、次に電源をONにした時のGPS衛星の状況が異なる場合。
- ・GPS波の受信を妨げる遮蔽物や妨害波がある(存在する)場所で本機の電源をONにした場合。

VPS(バーチャルポジショニングシステム)

GPSで、自転車の進行方向を検知して、ルートのずれを補正します。

GPS非測位時には、VPS(バーチャルポジショニングシステム)が行う進行距離計算によって、より高精度な警告をすることができます。

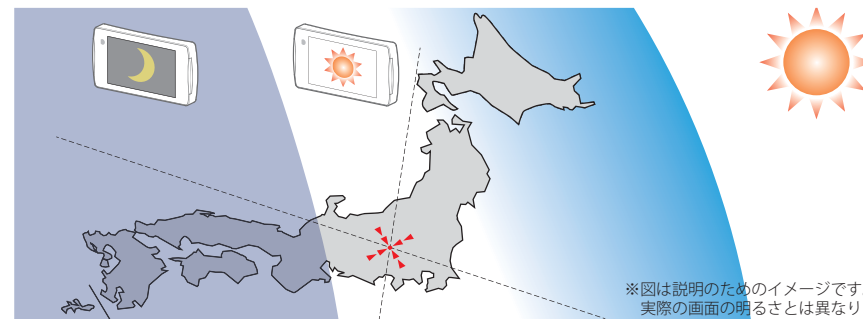
受信可能な電波

取締レーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

$$\text{衛星} + \frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}} + \text{無線2バンド} = \text{5 BAND}$$

画面の明るさ調節(フレックスディマー)

夜間は、画面表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。GPS情報等により、それぞれの地域および季節などに応じ自動的に画面表示の明るさを調整します。



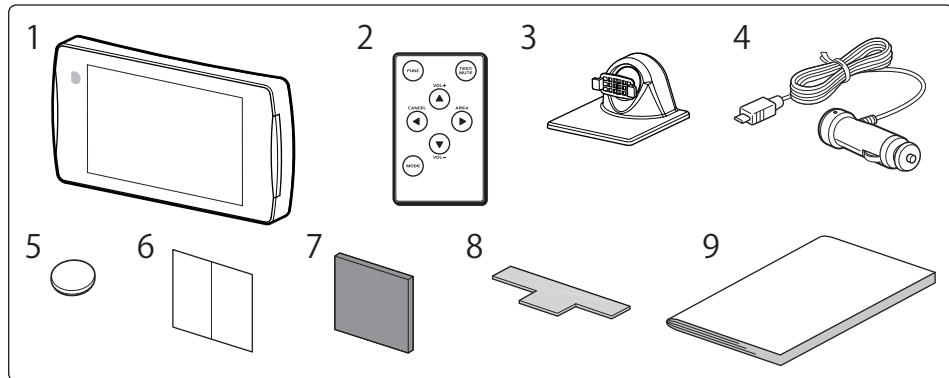
※図は説明のためのイメージです。
実際の画面の明るさは異なります。

必ずお読みください

同梱品の確認

同梱品の確認をしてください

製品には万全を期しておりますが、欠品等ございましたら、お買い上げの販売店にお申し付けください。



番号	名称	説明
1	本機 (●P.9)	SCX-R326本機です。
2	リモコン (●P.9)	本機を操作するためのリモコンです。
3	ダッシュボード取り付け用ブラケット (●P.11)	本機を車両のダッシュボードに取り付けるためのブラケットで、取付角度を上下左右に調整できます。
4	シガープラグコード (ミニプラグ DC12V出力) (●P.16)	車両のシガーライターソケットから本機に電源を供給するためのコードです。
5	リモコン用ボタン電池 (●P.18)	リモコン用の電池 (CR2016) です。
6	粘着シート (●P.12)	粘着マット使用時にダッシュボードに貼り付きにくい場合に使用します。
7	粘着マット (●P.11)	ダッシュボード取り付け用ブラケットをダッシュボードに固定します。
8	直付け用両面テープ (●P.14)	本機をダッシュボードに直接取り付ける場合に使用します。
9	取扱説明書・保証書 (本書)	裏表紙が保証書になっています。 お買い上げいただいた販売店の店名・住所が記載されていることをご確認ください。記載されていない場合は、販売店に確認ください。

※同梱品の追加購入につきましては、●P.58をご覧ください。

各部の名称と働き

各部名称

本機

正面

赤外線受光部

リモコンの赤外線信号を受信します。

※本機の操作はリモコンで行います。

液晶ディスプレイ
ワイド 3.2 インチ

背面

GPS アンテナ

GPS 衛星からの電波を受信します。

レーダー / 無線アンテナ

取締りレーダー波と各種無線信号電波を受信します。

DC ジャック (●P.15)

シガープラグコードなどのプラグを接続します。

スピーカー

警告音などを出力します。

シリアルナンバー

製造番号が印刷されています。

電源スイッチ [PWR]

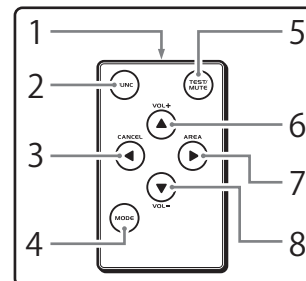
「ON」にすると電源が入ります。

microSD カード挿入口

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新を行う際に、microSD カードを挿入します。(●P.19)
・microSD カードは別途ご用意ください。

※液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があります。あらかじめご了承ください。

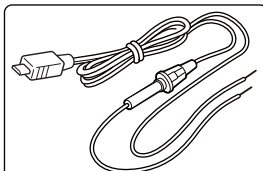
リモコン



番号	名称	機能と参照ページ
1	赤外線発光部	本機に向けて使用します。
2	FUNC	地点の登録・ity.MAPを表示…………… ●P.38、51
3	◀	メニュー移動…………… ●P.26
4	MODE	設定メニューを表示…………… ●P.24
5	TEST / MUTE	設定メニューを表示・警報音の消音…………… ●P.40、30
6	▲	ボリューム上げる、メニュー移動…………… ●P.24、26
7	▶	メニュー移動…………… ●P.26
8	▼	ボリューム下げる、メニュー移動…………… ●P.24、26

別売品のご案内

電源直結コード(OP-9U)



本体 1,500 円＋税
コード長：約 3m
ミニプラグ DC12V 出力

■ヒューズの交換方法

押しながらひねる



交換時ヒューズを落下させないようにしてください。

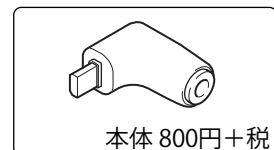
交換用ヒューズ：管ヒューズ 1A (30mm×6.5mm)

同梱品



シガープラグコード

DCプラグ⇒ミニプラグ 変換コネクタ (OP-8U)



本体 800円＋税

既存のシガープラグコード
もしくは電源直結コード



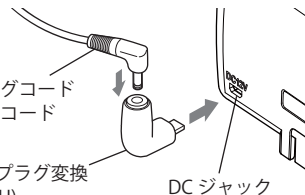
接続可能なプラグ
の先端形状

弊社レーダー探知機からのお買い換えなどの場合に、既存のシガープラグコードや電源直結コードを継続して使用していただけるように、本機接続側のDCプラグをミニプラグに変換するコネクタです。

既存のシガープラグコード
もしくは電源直結コード

DC プラグ⇒ミニプラグ変換
コネクタ (OP-8U)

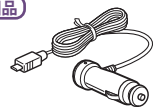
DC ジャック



DC5V →
電源電圧が DC 5V 仕様の場合。 使用できません。

下記のいずれかの製品で、新たに配線してください。

同梱品



シガープラグコード

別売品



電源直結コード (OP-9U)

取り付け(本機取り付け)

つづく

本機を使用する手順として「本機を取り付ける」「電源コードをつなぐ」「リモコンを準備する」の手順に従って説明します。

まず本機を取り付けます。下記の2通りの取り付け方法があります。

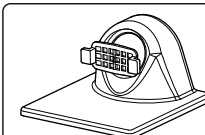
- ①ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける
- ②直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付け

どちらかの方法で取り付けを行ってください。

⚠注意

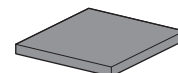
- ❗ 取り付けにより、ダッシュボードに跡が残ったり、変色や変形が生じることがあります。ご使用の有無に関わらず、お車への補償はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ❗ ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボード取り付け用ブラケットの下部を持って、ゆっくりと行ってください。本機やダッシュボード取り付け用ブラケット上部を持つと、破損の原因となります。
- ❗ 衛星からの電波を受信しやすくするため、障害物や遮へい物のない視界の良い場所に取り付けてください。

①ダッシュボード取り付け用ブラケットで取り付ける



ダッシュボード取り付け用ブラケット

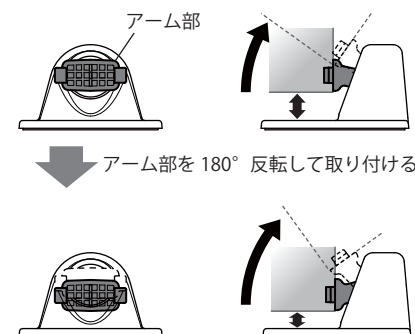
自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットです。
[特許出願中]



粘着マット

国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マットを採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。強力な粘着力により、ダッシュボードに安定して設置できます。

ダッシュボード取り付け用ブラケットの調整

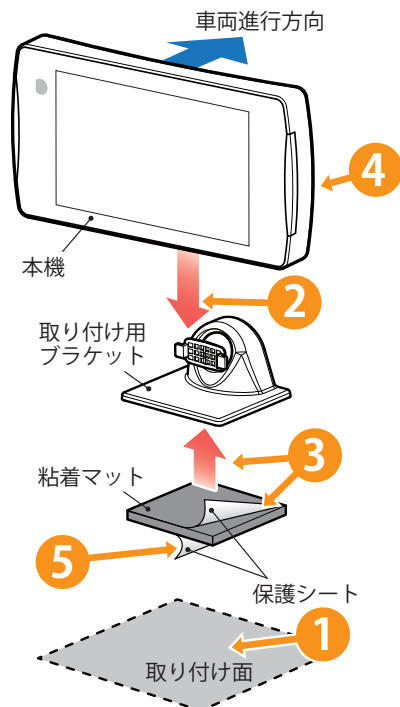


ダッシュボード取り付け用ブラケットは、アーム部の取り付け向きを180度変えることで、本機の見え方を抑えることができます。

アームの向きを変えると、本機を起す方向は、より広い取り付け角度に対応することができますが、左右に倒す方向の取り付け角度は狭くなります。ダッシュボードの取り付け面の角度に応じて調整してください。

アーム部の取り付け・取り外しは P.57 をご覧ください。

使用の準備



1 ダッシュボードの取り付け面にホコリや汚れがないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPS電波を受信しやすい場所にしてください。

2 本機の溝をブラケットに合わせ取り付けます。

3 保護シートを片面だけをはがし、粘着マットをブラケットに貼り付けます。

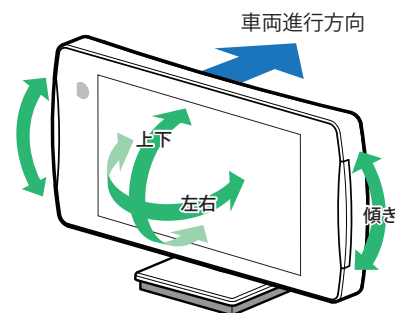
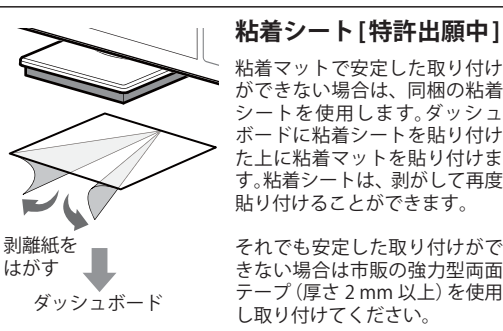
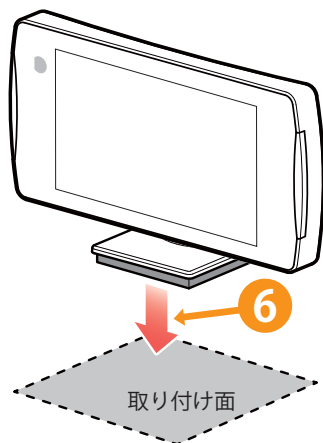
4 シガープラグのDCプラグを本機に挿して、PWRをONにしておきます。

5 残りの保護シートをはがします。

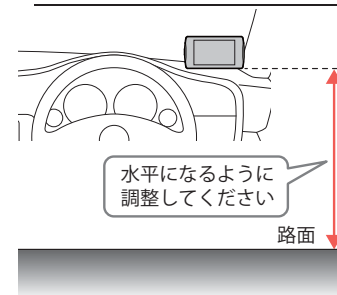
粘着マットは水洗いできます

ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元します。

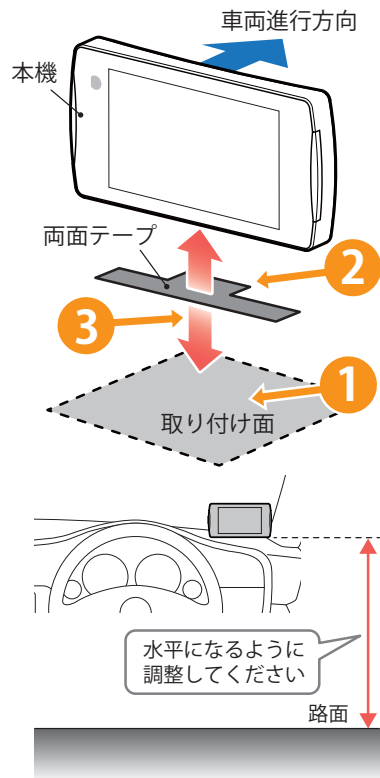
6 ダッシュボードの取り付け面に取り付けます。本機を破損しないようブラケットを押さえ貼り付けます



7 GPSアンテナやレーダーアンテナ、Gセンサーが正しく動作するように、本機の背面が車両進行方向を向くようにし、画面が見やすいように調整してください。



②直付け用両面テープでダッシュボードに直接取り付ける

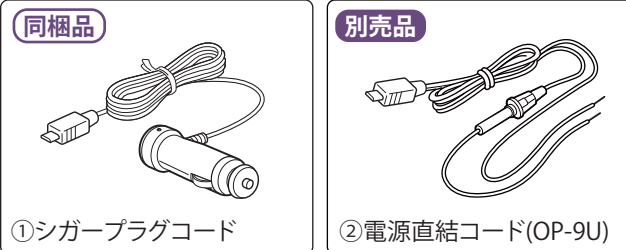


1 ダッシュボードの取り付け面にホコリ、汚れや脂分がないことを確認してください。取り付け面は、なるべく平らで水平に近く、GPS電波を受信しやすい場所にしてください。

2 直付け用両面テープの保護シートを片面だけはがして、本機の底面にしっかりと貼り付けてください。

3 直付け用両面テープの残った保護シートを剥がしてください。本機の背面を車両進行方向に向けて、水平な路面と平行になるように取り付けてください。取り付けをしたあと、剥がすと粘着力が落ちます。再度取り付ける場合は、同等の両面テープ(市販品)をご用意ください。

2種類の配線方法があります。同時に複数の配線を行うことはできません。



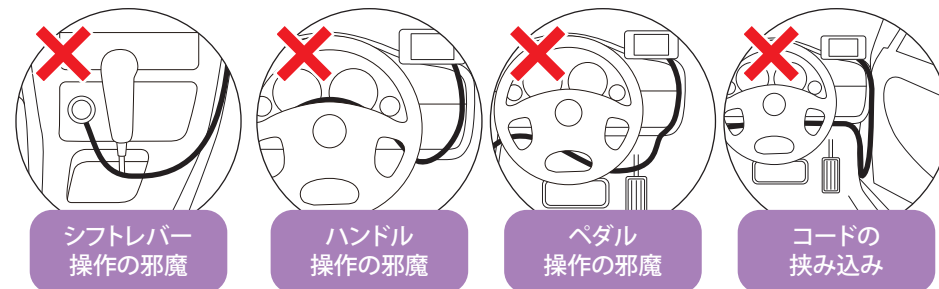
警告

! 本機のDCジャックはUSB端子ではありません。故障の原因となりますので、本機をパソコンなど他の機器のUSB端子と接続しないでください。

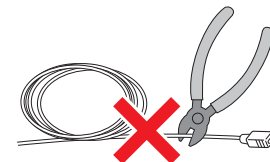


ご注意ください

●特定の配線経路はありませんが、運転中の視界や操作の邪魔になったり、ドアやペダルなどの可動部に本機やコードが挟み込まれたり、当たったりしないようにしてください。



●コードが長くて、切って短くしないでください。



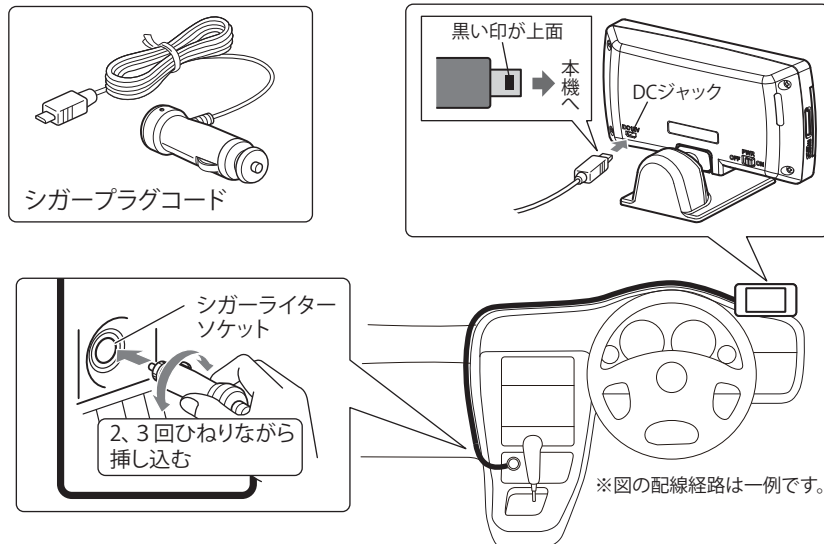
アドバイス 市販品のコード固定クリップでコードをダッシュボードに固定したり、タイラップでコードを束ねることができます。



取り付け(電源コードの配線)

①シガープラグコードによる配線

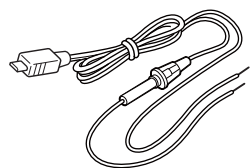
同梱品



ご注意ください

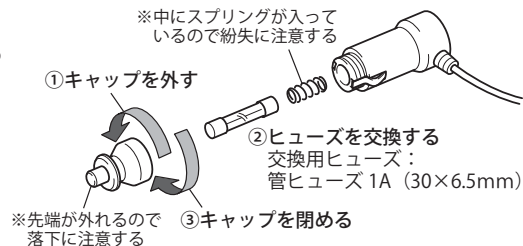
- 一部の車種において、シガーライターソケットの形状が合わないことがあります。その場合は、別売品の電源直結コード(OP-9U)をご使用ください。

別売品 電源直結コード(OP-9U)



●ヒューズの交換方法

交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。



②電源直結コード(OP-9U)による配線

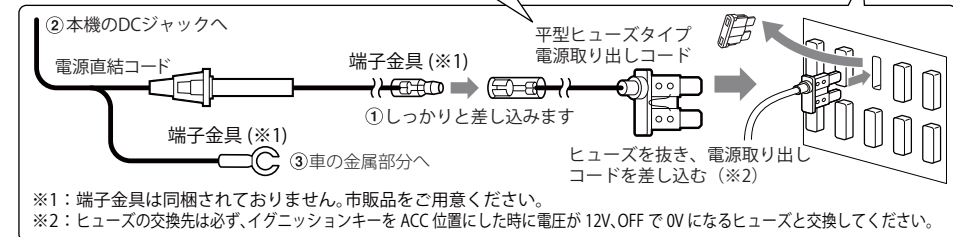
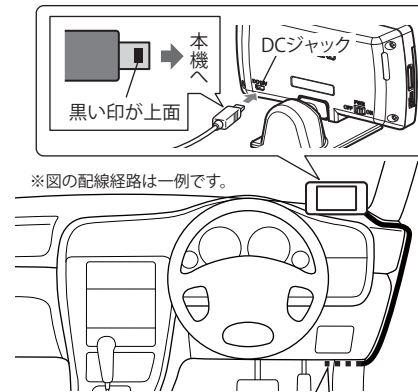
別売品

別売品

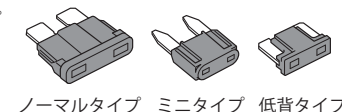
電源直結コード(OP-9U)
本体1,500円+税
コード長：約3m
ミニプラグ DC12V 出力

市販品

平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード



※ヒューズボックスから電源をとることができる「平型ヒューズタイプ 電源取り出しコード(市販品)」を使用します。(ノーマルタイプ、ミニタイプ、低背タイプがありますので、あらかじめヒューズボックス内でサイズと容量をご確認の上、ご用意ください。)

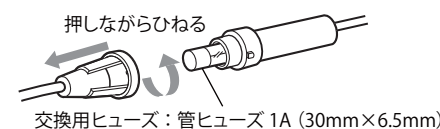


警告

- ⚠ 作業中のショート事故防止のため、配線前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- ⚠ カーナビやラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーの端子を外すと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子を外す前に、必ずメモリー内容を控えてください。
- ⚠ 平型ヒューズタイプ電源取り出しコードの取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

●電源直結コードのヒューズ交換方法

交換時ヒューズや部品を落下させないようにしてください。

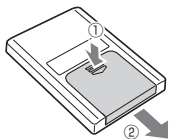


使用の準備

リモコンの準備

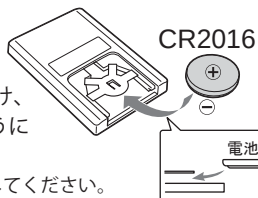
同梱品のリモコン用リチウム電池(CR2016)をリモコンに入れてください。

1



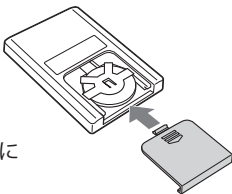
電池カバーを取り外す。
①の方向に押しながら、
②の方向に引き出してください。

2



⊕マークを上に向け、
電池を差し込むように
して入れる。
※電池の向きに注意してください。

3



電池カバーをリモコンに
取り付ける。

4



本機の赤外線受光部に
向けて操作してください。

赤外線受光部

- 直射日光のあたる場所には、長時間放置しないでください。
- リモコン操作がしにくくなったら、電池寿命です。市販の新しいものと交換してください。
- CR2016以外の電池は、使用しないでください。
- 寿命の目安としては、1日50回程度の使用で約1年間ですが、1年以内でも消耗することがあります。

警告



使用済みの電池は、火中に入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

microSDカードの装着/取り外し

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新をご利用の際にはmicroSDカードが必要です。

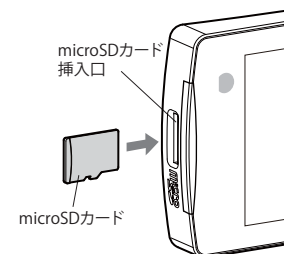
オービス・取締り系&コンテンツデータ更新をご使用の際は、市販品の8GB以下(2GB以上推奨)のmicroSD(microSDHC)カードを別途ご用意ください。
※microSDカードとの相性による動作の不具合については保証いたしかねます。

注意

- microSDカードの出し入れは、必ず電源がOFFの状態で行ってください。
- microSDカードは一方向にしか入りません。microSDカードを下図のように挿入してください。無理に押し込むと、本機やmicroSDカードが壊れることがあります。
- データ更新中は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。

電源をOFFにしてmicroSDカード挿入口にmicroSDカードを『カチッ』と音がするまで差し込みます。

右図の向きに合わせて差し込んでください。



- microSDカードは本機専用でご使用ください。
- microSDカードを取り出す時は、カードを押し込み、カードが少し飛び出してから引き出します。
- microSDカードは、必ず取り外してご使用ください。
- microSDカードの接続や取り外しは、無理に差し込んだり引き抜かないでください。
- microSDカードを接続したままの状態や、半分挿入した状態で使用にならないでください。
- microSDカードを取り外したあとは、各microSDカードの説明書の指示に従って大切に保管してください。

使用の準備

取締りのミニ知識

本書では取締り方法について、以下を想定して説明しています。

スピード違反の取締り方法

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法（レーダー方式）

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化（ドップラー効果）で速度を算出します。

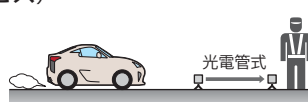
※対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しないステルス型の場合、事前に探知できません。



2. 距離と時間で算出する方法（光電管・ループコイル式オービス）

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

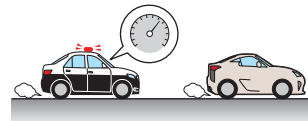
※この方式は取締りレーダー波を発射しておりません。GPSターゲットとして登録されている場合のみ、警報することができます。



3. 追走して測定する方法（追尾方式）

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

※追尾方式等で取締りレーダー波を発射しない機械式の計測方法の場合は、探知することができません。



取締りレーダー波について

取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。大きく分けて3つの方法があります。

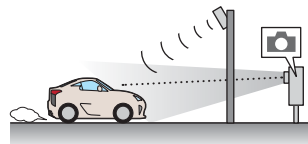
定置式

人が測定装置を道路際に設置して行います。取締りレーダー波は、直進性が強いので、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



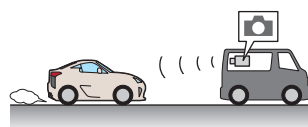
自動速度取締り機（新Hシステム、レーダー式オービス）

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



移動式

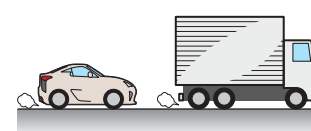
測定装置を車両に搭載して、移動しながら測定を行います。



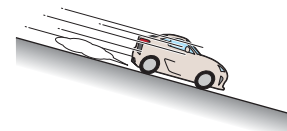
取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。
- 前に走行している車（とくに大型車）がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



【前に走行中の車がある場合】



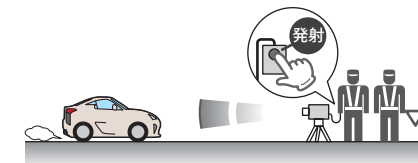
【下り坂】



【コーナー】

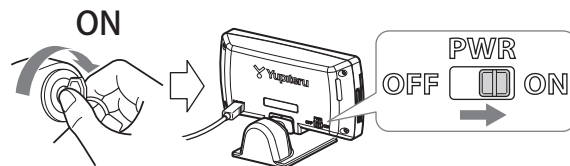
ステルス型取締りについて

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知（受信）されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。



- ・ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- ・通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ・ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

電源をONにする



1 エンジンキーをONにし、本機の電源スイッチを『ON』にしてください。

2 最初にオープニングアニメーションが表示されます。

3 本機が衛星を見つけると、画面が待受画面に変わります。必ず『測位しました。』のボイスを確認してから出発してください。
本機の位置によっては、待受画面が表示されず、いきなり警報画面が表示される場合があります。
※衛星を受信するまでは測位情報画面が表示されます。

待受画面表示(例)



GPS ターゲット警報(例)

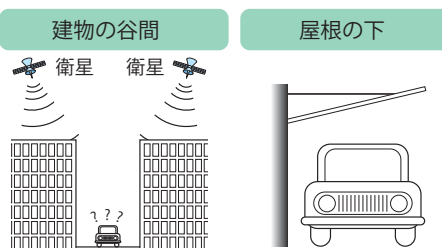


レーダー式オービス警報(例)

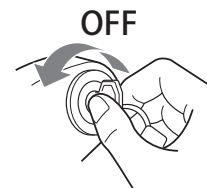


測位に時間がかかることがあります

次のような場合、本機の電源を入れてから『測位しました。』と音声が出るまでに、時間がかかる、もしくは測位できない場合があります。
その場合は、障害物や遮蔽物のない視界のよい場所へ移動し、車を停車してください。



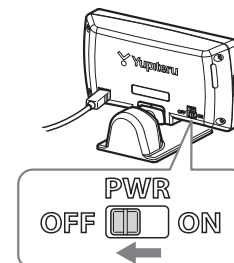
電源をOFFにする



車のエンジンキーをOFFにすると、本機の電源も連動してOFFになります。

エンジンキーをOFFにしても本機の電源がOFFにならない場合

車種によってエンジンキーをOFFにしても、本機の電源がOFFにならない場合があります。その場合は、本機の電源スイッチを操作して電源をOFFにしてください。
※バッテリー上がりの原因となります。



警告

! 本機の電源をOFFにするためにコードを抜くと、故障の原因となる場合があります。本機の電源をOFFにするときは、必ずエンジンキーをOFFにするか、本機の電源スイッチをOFFにして電源をOFFにしてください。

音量の調節



[▲]、[▼]ボタンで音量を調整できます。『ピッ』という確認音で音量を確認してください。
VOL7(最大)からさらに[▲]ボタンを押すと、『ブブッ』と鳴ります。

マナーモード

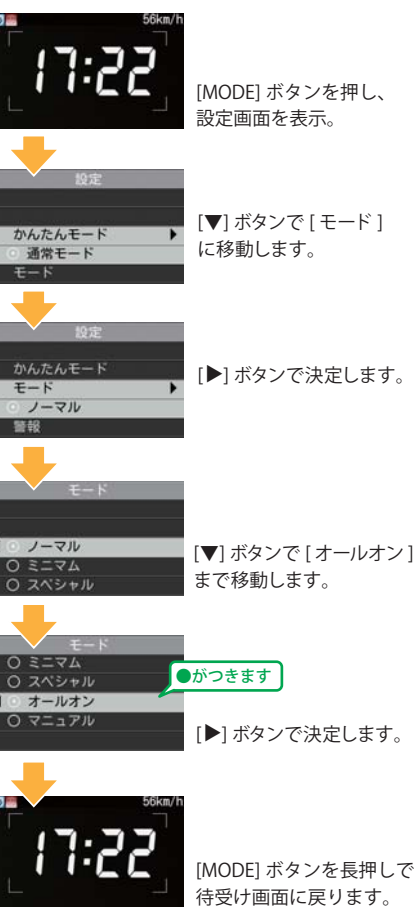
マナーモードに入ると、約2秒後に画面表示が消え、音声および画面によるすべての警報が行われなくなります。

VOL0(消音)からさらに[▼]ボタンを押すと、マナーモードになります。元に戻すには、[▲]ボタンを押してください。

すべての機能を使う

オールオンモードの設定

本機のすべての機能を使用できます。
※初期設定は、ノーマルモードになっています。



このオールオンモードでお使いいただき、必要に応じて表示や警報内容をカスタマイズすることができます。(P.43)

設定終了～出発

本機のすべての機能(オールオンモード)を使う設定が完了しました。なお、ここまでの設定は、1度行えば、次回の電源ON以降は必要ありません。

現在の設定概要は次のようになっています。

モード設定：オールオン	警報できるすべての取締レーダーおよびGPSターゲットに対して警報画面が表示され、それにとまなう音声流れます。
待受画面：時計	時計が表示されます。
受信感度モード：AAC / ASS	時速30km未満では、取締レーダーに対する警報を行いません。また、時速30km以上では、速度が上がるにしたがって段階的に受信感度が上がっていきます。
レーダー警報音：メロディ1	警報の発生時、オリジナルのメロディが流れます。
Iキャンセル：ON	誤警報を行うと、同じ地点の2回目以降の警報を自動でキャンセルします。
道路選択：オート	車両が一般道または高速道路どちらを走っているかを判別し、判別された道路のGPSターゲットに対してのみ警報が行われます。※一般道と高速道が並行/交差している場所およびその周辺では、両方の警報を行うことがあります。また、渋滞等で高速道を低速走行すると、一般道と判別することがあります。
リラックスチャイム：2時間	本機の連続電源ONで、2時間おきに『長時間運転しています。休憩しませんか?』と音声流れます。
時報：ON	毎時、正時に『午前(午後)〇〇時です。』と音声流れます。
明るさ：ふつう	画面の明るさ。「最小」～「明るい」間の「ふつう」になっています。
オービスロケーションガイド：ON	オービスの手前500mで、目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)とオービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

待受画面

警報やお知らせがない時に、運転に役立ついろいろな情報を表示するのが待受画面です。待受画面は、7種類および「ローテーション」と「OFF」が用意されています。

待受画面を変更する時は、リモコンの[◀][▶]ボタンを押します。待受画面が順番に切り替わります。

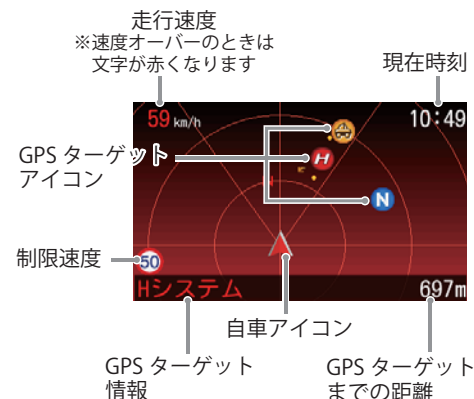
使用ボタン



- ・初期設定は、「時計」に設定されています。
- ・日付および時刻は、GPS 測位機能により自動的に設定され、日付や時刻合わせの操作は不要です。
- ・GPS 非測位時は右上の時計色が赤色になります。（測位状況により日付や時刻が合わないことがあります。）
- ・時刻の表示は、24時間表示です。
- ・走行速度はGPS の情報に基づき表示しています。車両の速度計は、数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
※車両の速度計とは一致しません。
※補正機能はありません。

レーダースコープ

現在地周辺の、本機に登録されたターゲットに近づく、現在地との位置関係をイメージで表示し、お知らせします。



- ・制限速度表示は、オービス（ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス）と一部の取締エリア警報時に表示します。
- ・表示される時刻・速度・距離は、衛星の受信状況により、ずれることがあります。
- ・走行速度やターゲットまでの距離、自車アイコンは、衛星やVPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合があります。
- ・衛星の電波を受信できなくなった場合、現在時刻表示が赤色になり、速度が表示されなくなります。
- ・画面上に地図・地名・道路・建物等は表示しません。

カレンダー

日付を表示します。

※衛星の受信状況により合わない場合があります。

時計

現在時刻を表示します。
右上に速度を表示します。
※衛星の受信状況により合わない場合があります。

速度

車両速度を表示します。

※速度の数値は衛星の受信により表示します。

エコドライブ

急加速、急減速、アイドリング時間、経済速度などからエコポイントを算出し、表示します。

※衛星の受信により、ポイントを算出します。
走行データをもとに評価するものです、目安としてお考えください。
※実際の交通規制に従って走行してください。
※設定初期化を行うとポイントがリセットされ初期値の70ポイントになります。

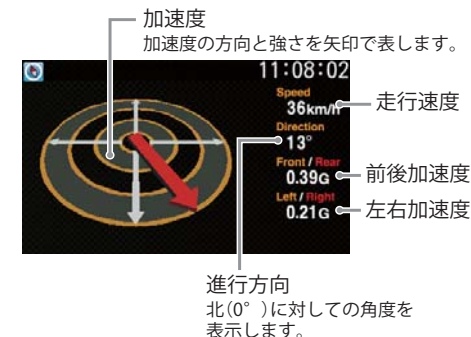
測位情報

衛星の受信状況を表示します。

青：GPS
オレンジ：グロナス
緑：みちびき、ひまわり、GAGAN、その他SBAS

※受信している衛星の受信レベルと衛星ナンバーを順に表示します。衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

Gセンサー



※加速度の情報は、しばらく使用すると自動的に補正されます。

ターゲット表示について

警報時には、画面下に情報をお知らせします。レーダースコープ待受では自車とターゲットの位置関係がわかります。
※待受画面「OFF」では表示しません。

●GPS ターゲット警報時(例)

●レーダー波受信時(例)

●カーロケ受信時(例)

●無線受信時(例)

※レーダー波や無線の発信源の位置や距離については表示されません。

アイコン表示について

画面上部にさまざまなアイコンを表示します。
「レーダースコープ」画面に設定した場合はアイコンは表示されません。



※図は説明のためのアイコン表示です。実際の表示とは異なります。
※レーダースコープ画面では表示されません。

No	表示名	アイコン	表示の意味
①	方位磁針表示		衛星を測位後に表示し、走行すると赤色の針が北方向を指します。(停車状態のままでは針が青色で動きません。)
②	GPSサーチ中表示		電源をON後に衛星を測位するまでの間や、測位した後一定の間衛星を受信できなくなった場合に点滅表示します。
③	カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。
④	取締・検問エリア表示		取締エリア、検問エリア内で点滅表示します。(●P.33～34)
⑤	駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内で表示します。(●P.34) 左：駐車最重点エリア、右：駐車重点エリア。
⑥	車上狙い多発エリア表示		車上狙い多発エリア内で表示します。(●P.35)
⑦	ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。(●P.30)

GPSターゲットアイコン一覧

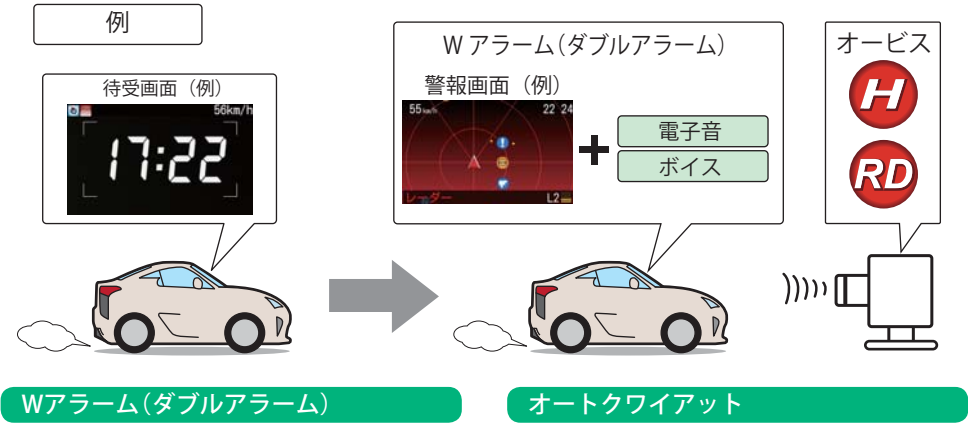
GPSターゲットのアイコン表示は、緊急度の高い順に「赤」→「黄」→「青」→「緑」の4色に識別して表示します。

色	ターゲット	アイコン表示
赤色	ループコイル	
	LHシステム	
	新Hシステム	
	レーダー式オービス	
黄色	速度取締エリア	
	移動オービスエリア	
	追尾式取締エリア	
	交差点取締エリア	
	その他取締エリア	
	シートベルト検問エリア	
	飲酒検問エリア	
	携帯電話検問エリア	
	その他検問エリア	
	交差点監視ポイント	
青色	Nシステム	
	交通監視システム	
	警察署	
	事故多発エリア	
	交番	
	踏切	
緑色	サービスエリア	
	パーキングエリア	
	ハイウェイオアシス	
	高速道 長/連続トンネル	
	ハイウェイラジオ受信エリア	
	道の駅	
	ビューポイントパーキング	
	駐禁エリア付近駐車場	
	消防署	
	公衆トイレ	

基本的な使い方

取締レーダー波を受信すると・・・

取締レーダー波を受信した場合、表示切替距離で接近切替(1000/500m)(●P.46)のときはレーダースコープ画面に切り替わります。



音(電子音/ボイス)と画面表示のダブルで警告します。

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に警報音の音量が小さくなります。

後方受信

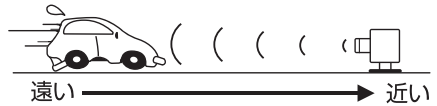
iDSPによる超高精度識別およびエクストラの超高感度受信により、後方からの取締レーダー波もシッカリ受信します。

ミュート機能

警報中に[TEST/MUTE]ボタンを押すと、受信中の電波が受信できなくなるまで警報音を一時的に消すことができます。

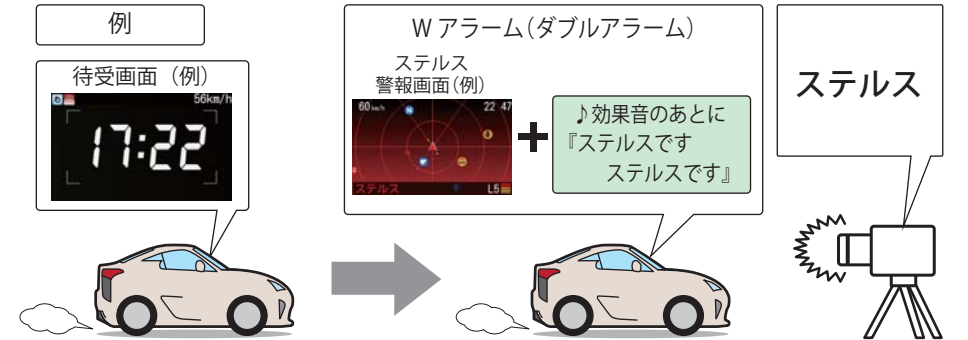
接近テンポアップ(電子音選択時のみ)

取締レーダー波発信源への接近に伴う電波強度の変化に合わせて電子音のテンポが上がっていきます。

取締レーダー波 発信源との距離	
電子音	『ピロ・ピロ』 → 『ピーーーー』 断続音から連続音に変化します。
受信レベル表示	 L5 レーダー波の受信レベルが変化します。

ステルス波を受信すると

表示切替距離で接近切替(1000/500m)(●P.46)のときは警報をおこなうレーダースコープ画面と専用の警報ボイスで警告します。



レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術(integrated Digital Signal ProcessingTechnology)により、ステルス型取締機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して警報画面とボイスでお知らせします。さらに、アイキャンセル(●P.43)により取締波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

[ステルス識別]
[アイキャンセル：特許 第3902553号、第4163158号]

・iDSPはステルス型の取締機に対して完全対応という訳ではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。



- ・レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
- ・新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

GPSターゲットに接近すると・・・

GPSターゲット警告

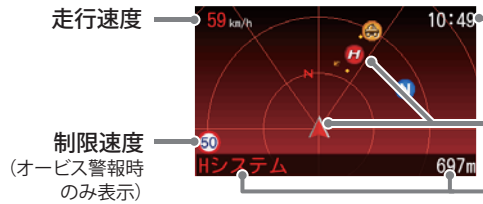
本機に登録されたGPSターゲットに近づくと、待受⇄レーダースコープ切替で接近切替(1000/500m) (P.46)のときは、待受画面からターゲットの存在をお知らせするレーダースコープに切り替わり表示。走行している道路の先にあるGPSターゲットを前もって知ることができます。

(例) 時計



走行速度
現在時刻
GPSターゲット情報
ターゲットの種類と距離を表示します。

(例) レーダースコープ



現在時刻
GPSターゲットアイコン・自車アイコン
現在の車両位置とGPSターゲットを表示します。
GPSターゲット情報
ターゲットの種類と距離を表示します。

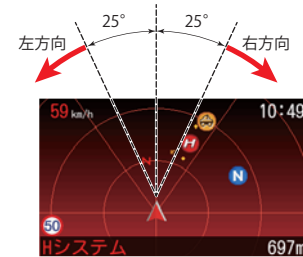


- 制限速度表示は、オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)と一部の取締エリア警報時に表示します。
- 表示される時刻・速度・距離は、GPSの受信状況により、誤差を生じることがあります。
- 走行速度やGPSターゲットまでの距離、自車アイコンは、GPSやGセンサー、VPSにより計測し表示させています。状況によっては実際と異なる場合もあります。
- GPS非測位時、走行速度は表示しません。

警報ボイスについて

つづく

左右方向識別ボイス



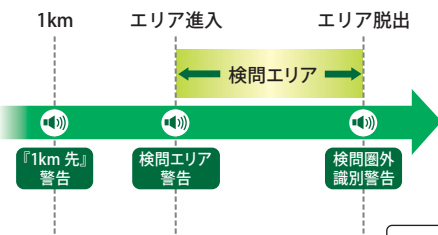
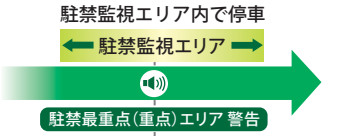
この画面のイラストは説明用です。実際の画面とは異なります。

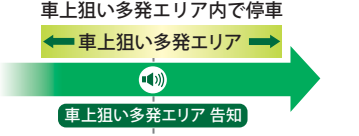
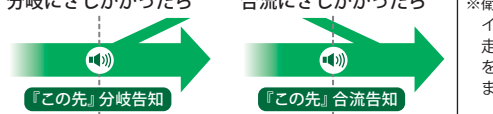
GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、「左方向」または「右方向」のボイスを付加して、その方向をお知らせします。

- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。
- ・ターゲットまでの距離が非常に近い場合は、左右方向識別ボイスをお知らせしないこともあります。

ターゲットの種類		お知らせするタイミング(距離)				
		※衛星の受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。				
オービス 5段階警報		2km(高速道のみ)	1km	500m	直前	通過
LC (ループコイル)		『2km 先』 警報	『1km 先』 警報 制限速度 告知 速度超過 告知	『500m 先』 警報 カメラ位置 告知	直前走行 速度告知 速度超過 告知	通過告知 制限速度 切替告知
	H (新Hシステム)					
	LH (LHシステム)					
	RD (レーダー式)					
※トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスは直前走行速度告知を行いません。 ※トンネル出口ターゲットと制限速度が登録されていない場合は制限速度告知を行いません。 ※トンネル出口ターゲットはカメラ位置告知を行いません。						
取締エリア		1km	エリア進入	エリア脱出		
移動オービス 速度取締 追尾式取締 交差点取締 その他取締		『1km 先』 警告	取締エリア 警告	取締エリア 取締圏外 識別警告		
	レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高	(取締エリア内で点灯) (レーダースコープ内 には表示されません)				
STOP (一時停止取締)		約 100m			STOP	
		『すぐ先』 警告				
		※1km 手前では制限速度 もお知らせします。 普通自動車の制限速度 をお知らせします。事故 や天候、時間帯などに よって変更される制限 速度には対応しており ません。 ※500m 手前ではカメラ 位置もお知らせします。 ※直前では走行速度告知 も行います。				
		※1km 手前では左右方向 もお知らせします。 ※本機に登録されている 取締エリアは過去の データに基づいていま す。頻度などは目安と してお考えください。 ※「トンネル内追尾式取締 エリア」、「トンネル出口 直後速度取締エリア」 から脱出した場合は、取締 圏外識別警告は行いま せん。				
		※本機に登録されている 取締エリアは過去の データに基づいていま す。頻度などは目安と してお考えください。				

基本的な使い方

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング(距離) ※衛星の受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
検問エリア		
 (シートベルト検問)  (携帯電話検問)  (飲酒検問)  (その他の検問)	 レベル 1 2 3 4 5 取締頻度 低 高 (検問エリア内で点灯) (レーダースコープ内には表示されません)	
 (交差点監視ポイント)		
 (信号無視抑止システム)		
 (高速交通警察隊)		
(駐禁監視エリア)  (レーダースコープ内には表示されません)	 ※本機に登録されている違法駐車取締ガイドラインの最重点地域・重点地域内で停車すると、お知らせします。	
 (一時停止注意)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。 ※東京都 23 区 / 名古屋市内 / 大阪市内の一時停止注意ポイントが登録されています。	
 (マイエリア)	 ※移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどをマイエリアとして自由に登録できます。	
(ゾーン 30 エリア)	 ※ゾーン 30 エリアに入るとお知らせします。	

ターゲットの種類	 お知らせするタイミング(距離) ※衛星の受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
 (N システム)	 ※ N システム：自動車ナンバー読み取り装置	
 (交通監視システム)	 ※ 交通監視システム：画像処理式交通流計測システムなど	
 (警察署)		
 (交番)		
 (事故多発エリア)		
(車上狙い多発エリア)  (車上狙い多発エリア内で点灯) (レーダースコープ内には表示されません)	 ※本機に登録されている車上狙い多発地域内で停車すると、お知らせします。	
 (踏切)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。 ※本機に登録されている踏切ポイントのアイコンを表示します。	
(急(連続)カーブ) (高速道路のみ)		
(分岐(合流)ポイント) (高速道路のみ)	 ※衛星の受信状況により、インターチェンジ出口走行中に、本線の分岐を告知することがあります。	

警報ボイスについて

ターゲットの種類	お知らせするタイミング(距離) ※衛星の受信状況によって、お知らせする距離が異なる場合があります。	
(ETC レーン)	ETC レーンにさしかかったら  ETC レーン お知らせ	※ETC レーンの位置によって「右側/左側/中央/両サイド」でお知らせします。 ※交通量や時間によるETC レーンの位置変更には対応していません。目安としてお考えください。
SA (サービスエリア) PA (パーキングエリア) HA (ハイウェイオアシス)	1km 『1km 先』お知らせ 『スマートインターチェンジ』お知らせ 『ガステーション』お知らせ	※サービスエリア、パーキングエリアおよびハイウェイオアシスのお知らせを OFF に設定すると、スマートインターチェンジ、ガステーションのお知らせも行いません。
(長い(連続)トンネル) (高速道路のみ)	1km 500m 『1km 先』お知らせ 『500m 先』お知らせ	
(ハイウェイラジオ) (高速道路のみ)	受信エリアお知らせ 受信エリア	※ハイウェイラジオ受信エリアに接近するとお知らせします。
(県境) (高速道路および主要一般道路のみ)	県境お知らせ ○○県 ⇄ □□県	※県境に接近するとお知らせします。 ※すべての道路の県境が登録されているわけではありませんので、あらかじめご了承ください。
(道の駅)	1km 500m 『1km 先』お知らせ 『500m 先』お知らせ	
(ビューポイントパーキング)	1km 500m 『1km 先』お知らせ 『500m 先』お知らせ	
P (駐禁エリア付近駐車場)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。	※本機に登録されている駐車場のアイコンを表示します。
Y (消防署)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。	※本機に登録されている消防署のアイコンを表示します。
WC (公衆トイレ)	サイレント警報 MAP 上でのアイコンで表示します。	※本機に登録されている公衆トイレのアイコンを表示します。

各種無線電波を受信すると・・・

衛星 + $\frac{\text{Xバンド}}{\text{Kバンド}}$ + 無線2バンド = **5 BAND**

本機は、取締レーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線2バンド受信をプラスし、5バンド受信ができます。

無線発信源の位置を表示することはできません

無線の受信を警報する画面は、無線を受信したことを表示しています。発信源の位置や距離については表示されません。本機の近くで取締に関係する無線が発信されていることを警報します。

1. 無線2バンド受信機能

無線の種類	無線の説明
カーロケ無線 (カーロケーターシステム) 『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』 『カーロケ圏外です』※ ※カーロケ無線の発信元が遠ざかった可能性が高いとき	「無線自動車動態表示システム」のことで、警察の通信司令本部がパトカーなどの移動局の現在位置をリアルタイムで地図上に表示し、把握するためのシステムです。カーロケーターシステムを搭載した移動局は、衛星による緯度・経度情報をデジタル化し、それを 407.7MHz 帯の周波数でデータ伝送しています。 本機は、それを受信することにより、移動局が近くにいることを警報します。 ※カーロケーターシステム搭載車であっても、カーロケ無線が使用されていない場合は、受信できないことがあります。 ※カーロケーターシステムは全国的に新システムへと移行しています。現在は受信できる地域でも、新システム移行後は受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムに移行した地域では、カーロケ無線の警報ができません。 ※受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と警報にズレが生じる場合があります。
取締無線 『取締無線です』	スピード違反やシートベルト着用義務違反の取締現場では、350.1MHz の電波で無線連絡が行われることがあります。これが取締無線です。本機は、それを受信することにより、近くで取締が行われていることを警報します。 ※無線を使わず、有線で通信が行われる場合があります。この場合は警報されません。

2. ベストパートナー 2 識別

カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

・カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

【圏外識別：特許 第3780262号】

●モード(☛P.41)を「ノーマル」「スペシャル」「オールオン」のいずれかにします。

・モードが「ミニマム」の状態では、ベストパートナー機能がはたしません。

・新システムへの移行により、カーロケ無線が受信しない地域では、ベストパートナー2 識別は、はたしません。

無線の種類	無線の説明
カーロケ遠近識別 『カーロケ近接受信です』 『カーロケ遠方受信です』	緊急車両などが近接している時や、遠方にいる可能性が高いとき
カーロケ圏外識別 『カーロケ圏外です』	カーロケ受信の発信元が遠ざかった可能性が高いとき

マイエリアを登録する

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録でき、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

- 登録数は、マイエリア、アイキャンセル(●P.43)、マイキャンセルエリア(●P.39)の合計で10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

マイエリアを登録する



① 登録したい地点で [FUNC] ボタンを押します。



② [▶] ボタンを押すとマイエリアが登録されます。

『マイエリアをセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km/500mと通過時の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉

『右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

- GPS測位状況や走行ルートによって、距離の告知(『1km先』、『500m先』)を『この先』や『300m先/200m先/100m先/すぐ先』とお知らせすることがあります。

緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、ity. MAPサービス(●P.51)をご活用いただけます。

表示方法



必ず、車を止めてから操作してください。

リモコンの[FUNC] ボタンを「FUNC 長押し ity. MAPを表示」と表示されるまで数回押し、表示されたら[FUNC] ボタンを長押しします。



- 表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。
- 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- 戻るときは、いずれかのボタンを押してください。
- 表示させたまま1分間経過すると、自動的に直前の画面に戻ります。

マイキャンセルエリアを登録する

自動ドアなど、取締機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセルエリア]

- 登録数は、マイキャンセルエリア、マイエリア(●P.38)、アイキャンセル(●P.43)の合計で10,000カ所まで可能です。10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。
- マイキャンセルエリアは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS53識別(●P.33)や無線2バンド識別(●P.37)・ベストパートナー2識別(●P.37)の警報はキャンセルできません。

マイキャンセルエリアを登録する



① 登録したい地点で [FUNC] ボタンを押します。



② [◀] ボタンを押すとキャンセルエリアが設定されます。

『マイキャンセルエリアにセットしました』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…〉

『GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『GPSを受信できません』とお知らせします。

登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

登録したマイキャンセルエリアを解除する

① マイキャンセルエリア登録されているエリアで、[FUNC] ボタンを押します。



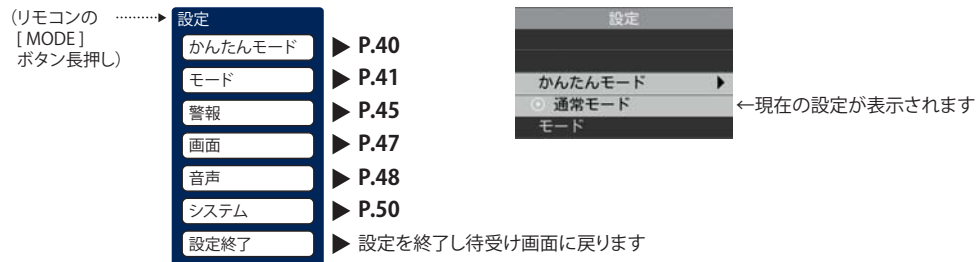
② [▶] ボタンを押すとキャンセルエリアを解除します。

『マイキャンセルエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイキャンセルエリアを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(●P.50)を参照ください。

設定

リモコンの[MODE]ボタンを押すと設定メニューが表示されます。
変更したい項目を選択すると各種設定ができます。



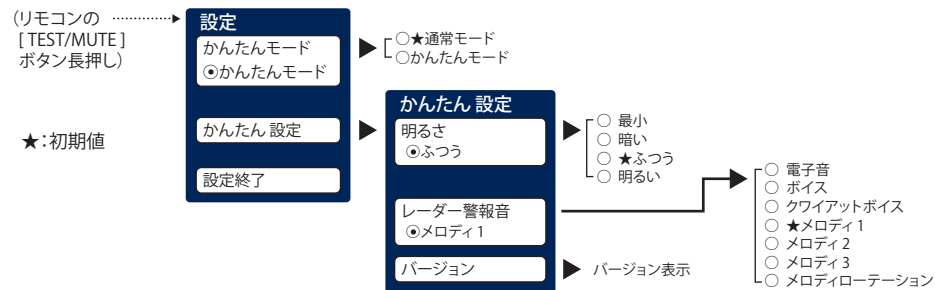
かんたんモード

設定メニュー

「かんたんモード」にすると、本機の設定がかんたん設定のみとシンプルになり、簡単に設定が終了します。詳細に設定したい場合は通常モードでお使いください。

※「通常モード」から「かんたんモード」に変更すると、通常モード時の設定はリセットされます。

「かんたんモード」のときの設定メニュー



〈かんたんモード〉

通常モードとかんたんモードを切り替えます。

かんたん設定・〈明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつう」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

かんたん設定・〈レーダー警告音〉

レーダー波受信時の警告を、電子音、ボイス、メロディで選択できます。

かんたん設定・〈バージョン〉

本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)とコンテンツバージョン(登録されているGPSデータ情報)が表示されます。

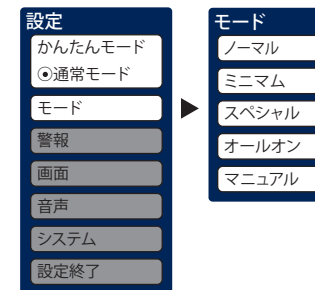
通常モード

かんたんモードで「通常モード」に設定すると、本機の機能を詳細に変更することができます。

モード

本機には、プリセットが4種類とマニュアルモードが用意されています。お好みに応じて変更してください。
初期設定は「ノーマルモード」に設定されています。

ノーマルモード：バランスを重視した内容に設定します。
ミニマムモード：最低限の項目だけをONに設定します。
スペシャルモード：取締に関する項目を重視した内容に設定します。
オールオンモード：すべての機能をONに設定します。
マニュアルモード：それぞれの機能を個別に設定します。



モード設定内容

●レーダーの設定

	画面表示	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
Iキャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	43
反対キャンセル		ON	ON	OFF	ON	ON	43

●無線の設定

カーロケ		ON	OFF	ON	ON	ON	37
取締無線		ON	OFF	ON	ON	ON	37

●GPSの設定

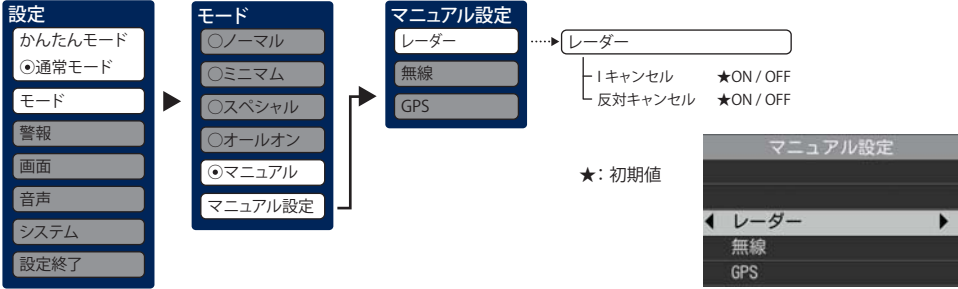
	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。					
オービス	   	ON	ON	ON	ON	ON	33
直前速度告知	   	ON	ON	ON	ON	ON	33
カメラ位置告知	   	ON	ON	ON	ON	ON	33
通過告知	   	ON	ON	ON	ON	ON	33
制限速度告知	   	ON	ON	ON	ON	ON	33
速度超過告知		ON	ON	ON	ON	ON	33

	アイコン	ノーマル モード	ミニマム モード	スペシャル モード	オールオン モード	マニュアル モード	詳細説明 ページ
		以下の内容で設定されており、変更はできません。				設定内容を 変更できます。	
取締エリア		レベル3 以上	OFF	ALL	ALL	レベル3 以上	33
検問エリア		レベル3 以上	OFF	ALL	ALL	レベル3 以上	34
制限速度切替告知		ON	ON	ON	ON	ON	33
交差点監視ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	34
信号無視抑止システム		OFF	OFF	ON	ON	OFF	34
高速交通警察隊		ON	OFF	ON	ON	ON	34
駐禁監視エリア		ON	OFF	ON	ON	ON	34
一時停止注意		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	34
Nシステム		OFF	OFF	ON	ON	ON	35
交通監視システム		OFF	OFF	ON	ON	ON	35
警察署		OFF	OFF	ON	ON	OFF	35
交番		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	35
事故多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	35
車上狙い多発エリア		OFF	OFF	ON	ON	OFF	35
急カーブ		OFF	OFF	ON	ON	OFF	35
分岐合流ポイント		OFF	OFF	ON	ON	OFF	35
踏切		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	35
ETCレーン		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
SA(サービスエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
PA(パーキングエリア)		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
ハイウェイオアシス		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
スマートIC		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
ガソリンスタンド		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
トンネル		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
ハイウェイラジオ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
県境		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
道の駅		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
VIEWPOINT/パーキング		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
駐車場		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
消防署		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
公衆トイレ		OFF	OFF	OFF	ON	OFF	36
ゾーン30		OFF	OFF	ON	ON	ON	34

マニュアルモードでのレーダー設定

設定メニューにそって、レーダーの各種設定変更ができます。

- ・「通常モード」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



〈アイキャンセル(Iキャンセル)〉[特許 第3902553号、第4163158号]

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時に電波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

登録数は、アイキャンセル、マイエリア(●P.38)、マイキャンセルエリア(●P.39)の合計で10,000カ所まで可能です。

10,000カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いエリアを削除し、新しいエリアを登録します。

アイキャンセルのしくみ

① 取締レーダー波と同じ電波を受信すると警報。[1回目]

② 取締レーダー波かどうかを識別。

③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。

④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。[2回目以降]

Before

After

• キャンセル中の画面

- ・ GPS 測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- ・ キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルを合わせてご利用ください。
- ・ 「アイキャンセル」を「OFF」に設定すると、アイキャンセル機能を停止させることができます。
- ・ 自動登録したエリアは、「アイキャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- ・ 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(●P.50)をご覧ください。

〈反対キャンセル〉

(反対車線オービスキャンセル機能)

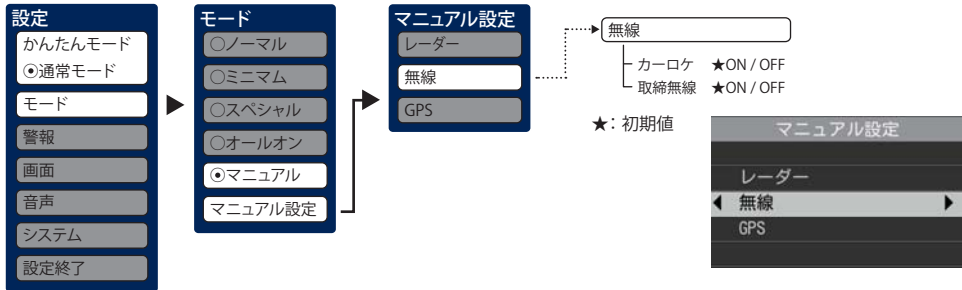
GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

モード (マニュアルモード)

マニュアルモードでの無線設定

設定メニューにそって、無線の各種設定変更ができます。

- ・「通常モード」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。

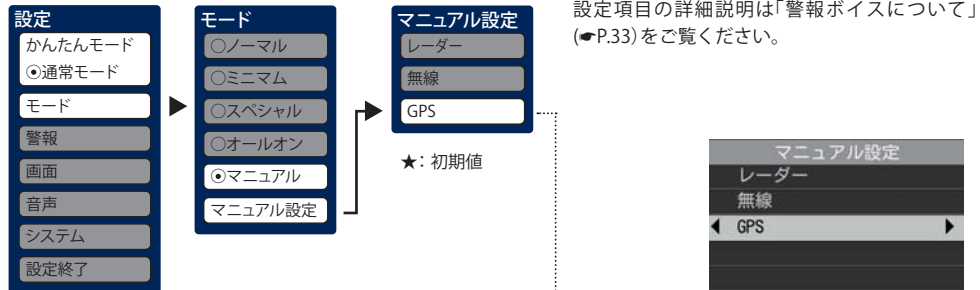


設定項目の詳細説明は「無線2バンド受信機能」(P.37)をご覧ください。

マニュアルモードでのGPS設定

設定メニューにそって、GPSの各種設定変更ができます。

- ・「通常モード」でマニュアルモードを選択した場合に設定内容が適応されます。



設定項目の詳細説明は「警報ボイスについて」(P.33)をご覧ください。

GPS		GPS	
オービス	★ON / OFF	一時停止注意	ON / ★OFF
直前速度告知	★ON / OFF	N システム	★ON / OFF
カメラ位置告知	★ON / OFF	交通監視システム	★ON / OFF
通過告知	★ON / OFF	警察署	ON / ★OFF
制限速度告知	★ON / OFF	交番	ON / ★OFF
速度超過告知	★ON / OFF	事故多発エリア	ON / ★OFF
取締エリア	LV.3 以上	車上狙い多発エリア	ON / ★OFF
検問エリア	LV.3 以上	急カーブ	ON / ★OFF
制限速度切替告知	★ON / OFF	分岐合流ポイント	ON / ★OFF
交差点監視ポイント	ON / ★OFF	踏切	ON / ★OFF
信号無視抑止システム	ON / ★OFF	ETC レーン	ON / ★OFF
高速交通警察隊	★ON / OFF	SA	ON / ★OFF
駐禁監視エリア	★ON / OFF	PA	ON / ★OFF

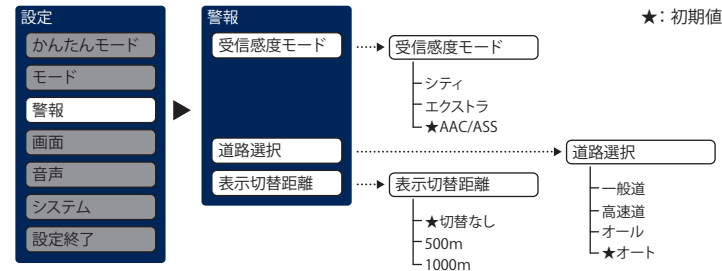
警報

つづく

警報

設定メニューにそって、警報設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



設定項目の説明

<受信感度モード>

レーダー受信感度を選択できます。

- ・受信感度が高いほど遠くの電波を受信できますが、取締レーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて受信感度をお選びください。

「シティ」・「エクストラ」

受信感度		走行環境や条件
高い ↑ 低い	エクストラ	郊外や高速道路
	シティ	市街地

「AAC/ASS」

衛星測位機能により AAC/不要警報カットや ASS/最適感度選択がはたります。

● AAC/不要警報カット

走行速度が時速30km未満はレーダー波の受信警報をカットします。停車中や低速走行中に自動ドアなどの電波を受信しても誤警報することはありません。

● ASS/最適感度選択

走行速度に合わせて最適な受信感度を自動的に選択します。

[AAC/ASSの動作]

走行速度	受信感度	警報状態
0km～29km		警報しない
30km～39km	シティ	警報する
40km～79km	エクストラ	

- ・電源ON後、衛星を測位するまでの間はエクストラになります。
- ・走行中に衛星の測位ができなくなると、常に「警報する」状態になり、時間経過でエクストラに変化します。

〈道路選択〉

GPS警報する道路を「一般道」「高速道」「オール」「オート」から選択することができます。

- GPS53識別警報のハイウェイアシスは「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
オール	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート	走行道路（一般道か高速道）をGPSの位置情報で自動的に識別します。 一般道と識別できたときは一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは高速道のターゲットのみ警報します。 • 一般道と高速道が並行していたり交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道／高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 • GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 • 高速道を走行している時間が短い場合は、高速道に識別されないことがあります。 • 渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に識別されません。

〈表示切替距離〉

GPSターゲットに接近した時に、待受画面からレーダースコープに切り替わるタイミングを変更できます。

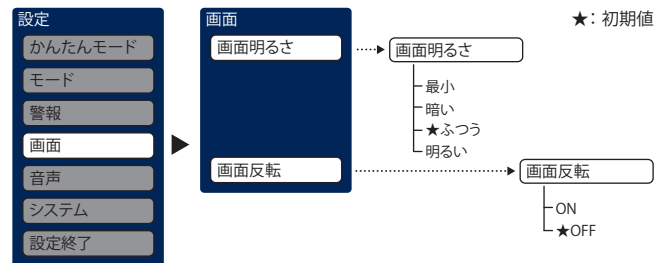
- 切替なし …………… 待受画面を表示したまま、レーダースコープに切り替わりません。
- 500m、1000m …………… ターゲットまでそれぞれの距離になった時に、待受画面からレーダースコープに切り替わります。

※待受画面がレーダースコープの場合は画面は変化しません。

画面

設定メニューにそって、画面の各種設定変更ができます。

設定メニュー



設定項目の説明

〈明るさ〉

画面表示の明るさを「最小」「暗い」「ふつつ」「明るい」の4段階で切り替えることができます。

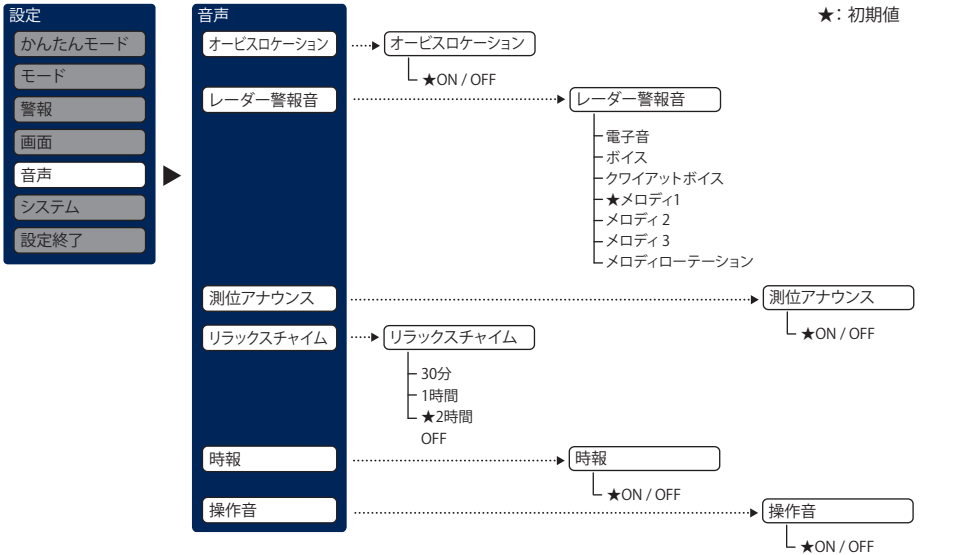
〈画面反転〉

「ON」に設定すると、画面表示の上下を反転することができます。

音声設定

設定メニューにそって、音声の各種設定変更ができます。

設定メニュー



〈オービスロケーション〉

オービスの手前500mで、目標物(交差点・バス停・陸橋・高速のキロポストなど)とオービスの種類などのアナウンスをより安全でわかりやすく行います。

〈レーダー警報音〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピッピッピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	♪効果音のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	♪効果音のあとに、『レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ1	オリジナルメロディ パターン1(メロディ1)で警報します。
メロディ2	オリジナルメロディ パターン2(メロディ2)で警報します。
メロディ3	オリジナルメロディ パターン3(メロディ3)で警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信することにより、3曲のメロディアラーム(メロディ1→メロディ2→メロディ3の順)で警報します。

〈測位アナウンス〉

衛星を受信すると「測位しました」とお知らせします。ビルの谷間などGPSの電波の受信状態が良くない場合、『GPSを受信できません』『GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。電源をONにしてから、しばらく衛星を受信できない場合『GPSをサーチ中です』とお知らせします。

〈リラックスチャイム〉

安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源ON後、設定時間が経過するたびに『長時間運転しています 休憩しませんか?』とお知らせします。

〈時報〉

「ON」に設定すると、毎時、正時に時刻をお知らせします。「午前(午後)〇〇時です」。

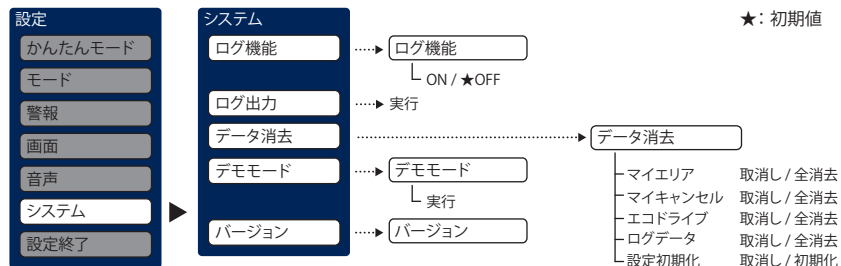
〈操作音〉

「ON」に設定すると、ボタン操作時の確認音が出ます。

システム設定

設定メニューにそって、システム設定の各種設定変更ができます。

設定メニュー



〈ログ機能〉

「ON」に設定すると、約30時間分の走行データを記録することができます。(●P.52)

※測位状況および走行の状況により異なります。

〈ログ出力〉

ログ機能で記録した走行データを別売品のmicroSDカードにコピーします。

- スタートを選択するとコピーを開始します。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア(アイキャンセル・マイキャンセルエリア)」「エコドライブ」「ログデータ」のデータを消去・クリアすることができます。また、「初期化」すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

- 消去したい項目(マイエリア、キャンセルエリア、エコドライブ、ログデータ)を選び、「全消去」を選択するとデータが消去・クリアされます。
- いったん消去・クリア・初期化すると、元に戻せませんのでご注意ください。
- 本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈デモモード〉

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。

- スタートを選択するとデモモードが始まります。
- デモモード中にリモコン操作するとデモモードは終了します。

〈バージョン〉

本体バージョン(ソフトウェアのバージョン)と「コンテンツバージョン(登録されているGPSデータ情報)」が表示されます。

今すぐ地図表示サービス(無料)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図を表示します。

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- バーコードリーダー機能付携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- 一部の携帯電話では、QRコードの読み取りや地図データを表示できない場合があります。

●今すぐ地図表示サービスの流れ

- ① リモコンの[FUNC]ボタンを「FUNC長押し ity.MAPを表示」と表示されるまで数回押し、表示されたら[FUNC]ボタンを長押しします。

- ② バーコードリーダー機能付携帯電話でQRコードを読み取り送信する。

携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

地図閲覧サービス(無料)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図を表示します。

- 通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- インターネットが利用できるパソコンが条件となります。
- 一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

●地図閲覧サービスの流れ

- ① 携帯電話専用サイトにアクセスする。
<http://www.yupiteru-itymap.com/>
- ② リモコンの[FUNC]ボタンを「FUNC長押し ity.MAPを表示」と表示されるまで数回押し、表示されたら[FUNC]ボタンを長押しします。
- ③ 携帯電話に緯度(N)・経度(E)を入力する。

携帯電話に周辺の地図や情報が表示されます。

●PC専用サイト
<http://www.yupiteru-itymap.com/pc/>



詳しくは、弊社ホームページ「ity.MAPサービス」(<http://www.yupiteru.co.jp/map/itymap.html>)をご覧ください。

ログ機能【特許出願中】

ログ機能をONに設定すると、走行データ(約30時間分)をレーダー探知機に記録します。
記録したデータは、市販品のmicroSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます。

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っていません。

※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

※測位状況および走行の状況によりログ記録時間は異なります。

● 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- OS
 - Microsoft Windows 7 (32bit版/64bit版)、Vista (32bit版/64bit版)、XP (32bit版) ※64bit版は未対応、2000。
- .NET Framework2.0以上がインストールされていること。 .NET Framework2.0以上がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

● ご用意いただくもの。

- microSDカードリーダー (8GB対応のもの)
- SDカードリーダーやパソコンのSDカードスロットを使用する場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。
- Google より Google Earth をダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp>) をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト (YP_LogData-Convert.exe) をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定(☛P.50)すると走行データが記録されます。

- 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- 走行データは、画面の左上にパーセント表示されます。(レーダースコープ画面では表示されません)



- 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ログ機能ON中は常に走行データを記録します。
日時別の保存や管理は行っていません。
- 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(☛P.50)を行うまで、100%の表示は残ります。
- 走行記録を消去する場合は、データ消去(☛P.50)を行ってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でmicroSDカードにコピーを行ってください。

2. 走行データをmicroSDカードにコピーする

リモコンで操作を行ってください。

- ① [MODE]ボタンを押し「設定モード」にする。
- ② 「システム」を選択。
- ③ 「ログ出力」を選択。
- ④ 「▶」ボタンを押します。

<コピー中の画面>



- microSDカードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、「データ消去」を行ってください。(☛P.50)

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- ① 走行データをコピーしたmicroSDカードをパソコンに接続する。
 - ② YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート)を起動する。
パソコン画面の「開く」ボタンをクリックし、microSDカードの走行データ(*.Log)を選択する。
 - ③ 「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存する。
 - ④ 保存したファイルを開くと、Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。
- ※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。
- 必要に応じ、microSDカード内にコピーした走行データ(*.Log)を削除する場合は、他のデータを削除しないようにご注意ください。

オービス・取締り系&コンテンツデータ更新

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプラン、本体お預かり更新サービスで本機のオービス・取締り系&コンテンツデータの更新を行っていただけます。

各種更新サービスについての詳細は下記ホームページを参照ください。

<https://ity.yupiteru.co.jp/>

パソコンでのダウンロード、SDカードをお送りするお届けプランをご利用の際には、下記ホームページよりご利用の機種を選択のうえ、お申込み手続きを行ってください。

ity.クラブ / POWERED BY Yupiteru
<https://ity.yupiteru.co.jp/>

電話でのお問い合わせは下記フリーコールをお願いします。

◆ユピテル ity.クラブ 窓口

受付時間 9:00 ~ 17:00 月曜日 ~ 金曜日(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

 0120-998-036

本機お預かり更新サービスをご要望される場合は、お買い上げの販売店、または、お客様ご相談センターにご依頼ください。

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社ご相談窓口にご相談ください。

故障かな？

電源が ON にならない

- 電源スイッチが ON になっていますか。 ➡9
- シガープラグコードが外れていませんか。 —
- シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良をおこしていませんか。
2～3 回左右にひねりながらシガーライターソケットに差し込み直してください。 —
- シガープラグコード内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量の新しいヒューズと交換してください。 ➡16

電源が OFF にならない

- シガーライターソケットの電源が、イグニッションの ON/OFF と連動して ON/OFF しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、本機の電源スイッチで電源を OFF にしてください。 ➡9

何も表示しない

- 「マナーモード」になっていませんか。
リモコンの [▲] ボタンを押して解除してください。 ➡24
- 待受画面の設定が「OFF」ではありませんか。[◀][▶] ボタンを押して待受画面を変更してください。 ➡26

音が出ない

- 音量「0」になっていませんか。音量を調節してください。 ➡24

リモコンで操作できない

- リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池 [CR2016] と交換してください。 ➡18
- リモコンの赤外線がさえぎられていませんか。 —
- 本機の赤外線受光部に太陽光が直接入射していると、操作距離が短くなる場合があります。 —

画面に%（パーセント）表示がある

- ログ機能を「ON」にすると、走行データの記録状態をパーセント表示(0%～100%)します。 ➡52

速度表示が車両の速度計と異なる

- 車両の速度計は、実際より数値が高く表示される（プラス誤差）傾向があります。
※補正機能はありません。 —

警報がおかしい？

レーダー警報しない

- 電源が入っていましたか。 ➡9
- 取締レーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型や、取締準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締レーダー波が発射されていないことがあります。 ➡20
- マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。 ➡39
- アイキャンセルされていませんか。 ➡43
- 受信感度モードが「AAC/ASS」の場合、時速 30 km 未満のときは警報しません。 ➡45
- 「マナーモード」になっていませんか。
リモコンの [▲] ボタンを押して解除してください。 ➡24

GPS 警報しない

- GPS 測位していましたか。 ➡7
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。 —

取締もしていないのに警報機能がはたらく

- 取締レーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能がはたらくことがあります。故障ではありませんので、ご了承ください。 —

取締レーダー波と同じ電波を使用している主な機器
電波式の自動ドア、防犯センサー / 信号機の近くに設置されている車両通過計測器 / NTT のマイクロウェーブ通信回路の一部 / 気象用レーダー、航空レーダーの一部 / 他のレーダー探知機の一部
まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

警報の途中で警報音が小さくなる

- レーダー波の受信が約 30 秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット) ➡30

一般道を走行中に高速道のターゲットを GPS 警報する

- 「道路選択」の設定を「オール」でご使用の場合は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。 ➡46
- 一般道と高速道が並行していたり、交差している場所およびその周辺などで走行道路の識別が困難な状況では、一般道 / 高速道の両方のターゲットを表示・警報することがあります。 —
- ハイウェイオアシスは、「一般道」に設定された場合も GPS 告知されます。 —

故障かな？と思ったら

警報がおかしい？（つづき）

ひんぱんに無線警報する

- 放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。

—

取締り現場なのに 350.1MHz を受信しない

- モードを「ミニмум」に設定していませんか。「ミニмум」では取締無線の警報を行いません。
- 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には 350.1MHz の電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。

41

—

誤警報がキャンセルされない

- 「アイキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。
- スペシャルモードになっていませんか。スペシャルモードは「アイキャンセル」の設定を「ON」にすることができません。
- GPS 測位していましたか。
- 新 H システムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。
- 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。

43

41

7

—

—

ダッシュボード取り付け用ブラケットについて

ダッシュボード取り付け用ブラケットの、アーム部の取り付け・取り外しの方法です。

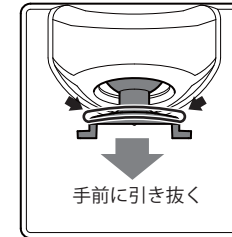
警告

- ！ 取り付け時のブレ防止のため、取り付けは固くなっています。ケガやブラケットの破損に、十分気をつけて行ってください。アーム部を取り外した際には、紛失に注意してください。



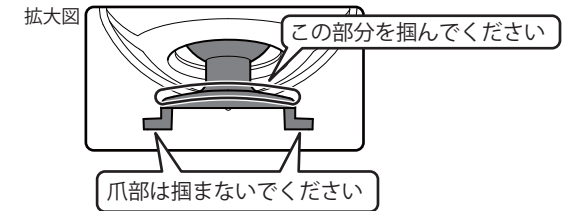
<通常時>
アーム部の前面左側の爪に○の刻印があります。

アーム部取り外し

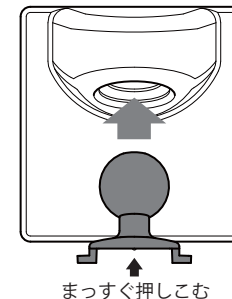


アーム部のツバの部分を布などで保護し、手前に引き抜きます。ラジオペンチなどを使用すると、簡単に抜けます。爪部を掴むと爪が折れる場合があります。

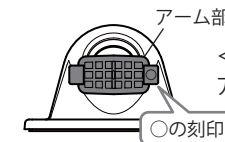
※必ず布などのやわらかいもので保護してください。破損の原因となります。



アーム部取り付け



アーム部を 180° 反転し、アーム部の中央をブラケットの穴に向かって、真っすぐに押し込んでください。



<付替え後>
アーム部の前面右側の爪に○の刻印があります。

その他

その他

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 12V (マイナスアース車専用)	動作温度範囲	: -20℃～+85℃
消費電流	: 待機時: 100mA 以下 (無線OFF時) 最大: 240mA 以下		(無線部: -10℃～+60℃)
受信方式	: [GPS 部] 26チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スweepオシレーター式ダブルスー パーヘテロダイン方式	外形寸法	: [本機] 102(W)×55(H)×21(D)mm [リモコン] 34(W)×56(H)×5(D)mm (突起部除く)
測位更新時間	: 最短 1秒	重量	: [本機] 約110g [リモコン] 約10g (電池含む)
表示部	: 液晶ディスプレイ ワイド3.2インチ		
受信周波数	: [GPS 部] 1.6GHz 帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF 部] 350.1MHz・407.7MHz		

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
 なお、本文中ではTMや®などの記号を記載しない場合があります。

取扱説明書は随時更新されます。最新版の取扱説明書は当社ホームページにてご確認ください。
<http://www.yupiteru.co.jp/>

- ・同梱品や別売品などを追加購入される際は、機種名とともに「X X (機種名) 用 ○○ (必要な部品)」で、製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。
- ・当社ホームページでご購入頂けるものもございます。詳しくは、下記ホームページをご確認ください。

Yupiteru スペアパーツ ダイレクト
<https://spareparts.yupiteru.co.jp/>

This image shows a full page of blank white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page, providing a template for writing or drawing. There are no margins, text, or other markings on the page.